各事務局だより

■秋田県退職校長会

秋田県退職校長会は、独立した９郡市退職校長会の連合体です。発足以来全国や東北、郡市間のつなぎ役、情報交換の場としての役割を担っており、実質的な活動は各郡市に任せられております。５月の総会、10月の秋季研修会のほか、７月に郡市会長・事務局長合同の会を開催しています。今回の集合写真は県の三役と各郡市を切り盛りする事務局長に集まっていただきました。



■福島県公立学校退職校長会

本会は昭和四十年の設立当初から十六支部の小・中・県立学校長経験者を一本化した組織です。事務局は、総務部、会計部、調査部、広報部から組織され、会員名簿等の編集、互助慶弔、各種調査活動、会報等機関誌の発行など本県教育振興のための活動や事業を行っています。特に、小・中・高等学校長会代表者や県教育長との教育懇談会等を通し「福島ならではの教育」の応援団として活動しています。



■茨城県退職校長会

今年度の会員数は二六七四名で、三十五支部に分かれている。

本部の事務局は二人で、週三日勤務している。

昨年度は関ブロ大会、一昨年は創立六十周年事業と大きな事業が続いたが、今年度は平常に戻っている。しかし、支部数が多いのでその連絡調整に手間がかかる。現在各支部で取り組んでいる、教育支援ボランティアを応援し本県教育に寄与することを目指している。



■福岡県退職中学校長会

事務局は、会長含み10人で総務部、組織部、事業部、広報部で運営を行っています。副会長会も開催します。県内25支会が有り各支会ごとに研修会や現職校長会との活動を行っています。特に現職校長会との交流会は会員増に繋がる有意義なものになっています。

また、県教育委員会との研修会、市町村教育長会との研修会を行い研鑽に努め県教育の振興に寄与できるように取り組んでいます。



■佐賀県退職校長会



本会の目的である「佐賀県教育の応援団」及び会員の親睦と交流を深める活動を支えるため、十五名の本部役員が、教育振興部、広報情宣部、福利厚生部を組織し、専門部活動を展開しています。「つながり合い」「支えあい」「たのしむ」をモットーに、十三支部の会員とともに、現職校長会や教育関係諸団体と連携し、特に、「人材バンク名簿」を活用した学校現場への支援活動に力を入れています。また、本会の公式ホームページ等による広報活動で会員の帰属意識の高揚を図っています。

■熊本県退職校長会



熊本県退職校長会は十二の郡市退職校長会の連合体であり、郡市独自で地域の特色を生かした活動を行っています。会の中核を担う事務局長会を年三回開催し、課題を協議したり、情報交換を行ったりして連携を深め、活性化を図っています。特に二回目の事務局長会は十二郡市持ち回りで開催し、当番郡市の名所巡りや懇親会で親睦を深める機会として定着しています。

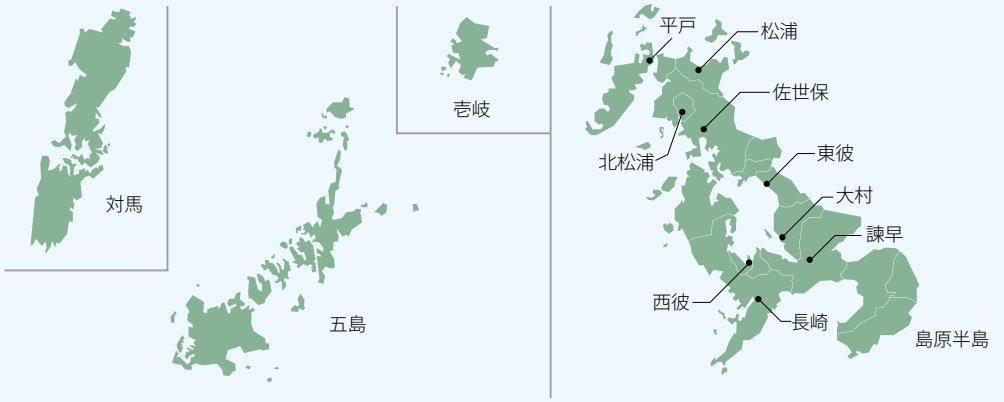
■長崎県退職校長会

本県退職校長会は、十三支部より構成され、毎年各地区において、校長等を交えた「教育懇談会」を開催している。その中で話題となった「学校が当面する諸問題」については、事務局で取りまとめ、「要望事項」として県教育長、課長等に提出し、「懇談会」を開催している。

入部2年目を迎える事務局長としては、収支の状況から事業を見直し、「持続可能な組織」となるよう全ての事業の見直しを進め、業者への発注は最小限に留め、会員名簿の作成を始め、県大会にあっては、ローテーションを廃止し、県本部のある長崎市で開催するなど、支出減を図っている。

新入会員が減少し、五割を切るに到ったため、旅費支給ができず、「九退協大会」は欠席せざるを得ない状況である。

また事務局にあっては、無報酬で取り組む県下十三支部の事務局への調査事項は極力控えている。



次号240号には、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、高知県、福岡県小、福岡市小、北九州市の退職校長会事務局を掲載予定です。